




世界に希望を生み出そう
2023-24 年度 RI テーマ
CREATE HOPE
in the WORLD
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

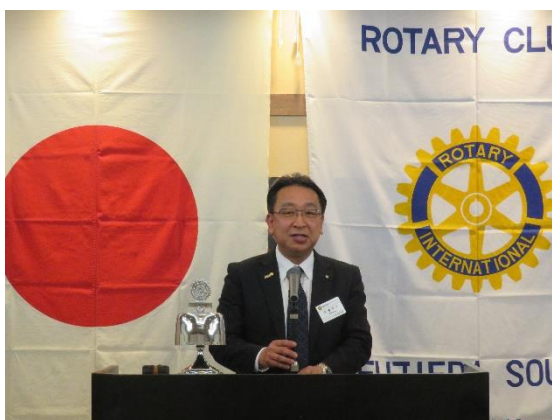
事務局：藤枝商工会議所内
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2023-24 年度
会長：渡邊博文 副会長：漆畑雄一郎 幹事：富澤賢一 副幹事：中山恵喜

例会 第 1541 回 通常例会/小杉苑

ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：杉浦聡君

■ 会長挨拶 渡邊博文君



3 月になりました。皆様とは、2 月 16 日以来となりました。本日は、とても暖かく 20℃を超える天気予報となりました。私は毎朝、天気と気温を TV の d ボタンから各局を検索します。一番当たるのが TBS 系列の SBS の天気予報です。同時に占いも見たくないのに映っていて、星座と血液型の組み合わせの占いで、おひつじ座の AB 型で私は本日、最下位の 48 位の運勢でした。元々興味はありませんが、最下位はテンションが下がります。今日一日、全ての事柄で気を付けて過ごします。

2 月 16 日に次年度の会長幹事会が小杉苑で開催されました。次年度の若林ガバナー補佐の船出となりました。会議もスムーズに進行し、決議事項や意見交換も十分され、実りある会長幹事会に感じました。

本日は理事会が開催されました。4 月 14 日日曜日に、地区協議会が開催されます。今回もリモートにて、YouTube 配信での開催です。将来の事務局運営を踏まえて、参考にしていきたいと思います。

5 月 18 日土曜日には、掛川にて袋井ロータリ

ークラブ主管の IM が開催されます。物価高騰のご時世から登録料が 10,000 円、全員登録となっています。多くの会員が参加して次年度に備える、思いをはせる IM にしたいと考えます。

6 月には会員旅行が開催されます。県内熱海周辺を訪れます。多くの皆さんに登録いただきありがとうございます。ゆっくりできるように、ゆとりある行程になっています。これから、また、親睦委員会の皆さんが内容を詰めて参りますので、楽しみにしてください。

本日は、IGM のグループの発表となります。「地域が本当に必要としていること」がテーマです。中村ガバナーもこれらのことを思い行動することが、ロータリーが各地域で存在感を発揮できる効果的な事柄と考えています。本日の 8 グループの発表を楽しみにしています。宜しくお願い致します。

■ 出席報告 笠原大輔君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
43/51 84.31%	45/51 88.23%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 伊藤彰君 ○江崎君 ○加藤君 ○川口君 ○増田君
- 中村君 ○山田幸君 ○秋谷君

(1) メイクアップ者

数野晴紀君 (藤枝) 小嶋英公君 (RLI)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
45	45	0	7

5校と多くの学生が居ます。また藤枝駅南口にあるBIVIには高校生や大学生が学習するスペースが設置され、常に多くの学生が学習する場所となっています。

このような環境を利用し、具体的なアクションとして、我々ロータリーの行っている通常例会の見学（オープン化）や奉仕活動への参加など、交流を持つことは良い経験になると思います。若い人に少しでも刺激になればと思いますし、日頃のロータリーの活動が少しでも伝わればと思います。又、後々ロータリーへ興味を持つ人も出てくると思います。

私達ロータリーでこのような機会を作ることは、地域社会の発展に寄与する事であり、地域社会が求めている事だと考えます。決して短期間に成果が表れるものではありませんが、こうしたことを継続することで、少しずつでも地域の魅力が向上し、人口の増加や賑わいのある街造りの一助となれば幸いです。

以上で当グループの発表を終わります。

4班 小池吉徳君



4班の打合せは、2月28日に藤枝駅前の神田寿司で行いました。最初は生ビールで乾杯しましたが、その後、寿司屋の飲み物＝日本酒ということ(?)から

日本酒に変わり、メニュー表の上から順番に注文していくことになりました。

メニューを見ると、志太泉、初亀、喜久酔といった地元のお酒が並んでいます。

これらの酒造メーカーは江戸時代から現在に至るまで地元で何百年も続き、美味しいお酒を提供し続けているわけです。

そこで今回のテーマである「地域社会で必要とされていることは、一体何なのか」の答えが見つかりました！これからも末永く、仕事を通して地域に貢献していく。これが我々がやっていくべきこととの結論に至りました。

最後に、日本酒→日本らしさと話しが進む中で、日本人の「義理人情」に話しが移りました。

「吉良の仁吉」という名前が出てきたのですが、初めて聞く話しと会も終盤で酔いも回っていたことから、残念ながら内容はあまり覚えていません・・・。

詳しい内容は、伊藤恒夫さんの次回の卓話で聞くことができるかと思えます。

ありがとうございました。

5班 森竹正晃君



「地域社会で必要とされていることは、一体何なのか」この様なお題でIGMを行いました

私は、遅れて行きましたので、佐野リー

ダーから内容をお聞きしました

地域社会で必要とされていることは、結論として、

「愛」である、「愛無しでは仕事は成り立たない」

「愛無しでは地域が活性しない」「愛無しでは家庭が朗らかに いかない 己の「愛」を持って全

てに接することが今、必要とされているのではないのでしょうか

何事も、愛情を持って対処することが、地域社会で必要とされている事なのだと思います。

昨年、付き合っていた、伊豆市の彼女が、なんでも、自宅で手料理を作ると言われましたので、ヨロシと思って伺いました

出て来た手料理は、お昼 ししゃも2匹 カップラーメンと目玉焼きでした。夜は どうなんだろうと想像していたらししゃも3匹 インスタントラーメンと冷凍餃子でした

ちょっと待てよと、思いつつ手料理の愛情って何？ 「ギモン」でした。さんざん、彼女が美味しいよね、美味しいよねと言うので、美味しいよと、私は、「ツイ」、仮にも言いました

5班の「地域社会で必要とされていることは、一体何なのか」の結論の中で「愛無しでは、家庭が朗らかに いかない」とありました。

「愛無しの手料理は、危険だと思いました」

以上IGM報告と、させていただきます

6班 平原望君



[開催日時・場所]

2月22日(木) 18:30～ 松浦恒産ビル1F 割烹たすく

[出席者] リーダ

一教野さん、植田さん、竹田さん、渡邊芳隆さん、松浦さん、山田幸保さん平原

[テーマ] 地域社会で必要とされていることは、一体何なのか

[内容]

◎現場へ出て、汗水流して奉仕活動をして社会貢献をするのはライオンズクラブの様な団体であり、ロータリークラブとは一線を画します。

◎ロータリークラブは、地区補助金事業・グローバル補助金事業に見る様に、お金を出す、経済的支援をすることにより社会奉仕を実践します。

◎ただ勿論、補助金事業を実施するには、ただお金を出すだけではなく、自ら知恵を絞り調査、企画立案して、実際に現地に出向き現地のみなさんと協力して事業を推進しております。こうして認知度を上げることが出来ます。

◎具体的な取組に関しては、各クラブにより考え方の違いがあります。

私達藤枝南には創設以来受け継がれる“エンジョイ・ロータリー”という根幹があり、そこに代々会長が枝葉を付けて年度ごとの特徴とします。

◎役所や商工会議所などと連携して社会奉仕活動を実行することが好ましい。

◎地域の人々がこの地域に住んでいて良かった、得をしたと思えることに、企業家集団であるロータリークラブが、企業活動を通じて貢献することが出来ます。

好条件の雇用を大きく創出して且つ、地域の優れた商品・サービスを購入する、これにより地域の人々は潤います。

一方、高品質で安価な商品・サービスを提供する。これにより地域の人々は得をします。

健康経営の導入などは、正に好条件の雇用創出に貢献します。

7班 小嶋英公君



第7グループは古川リーダーを中心に内山さん 佐野芳さん 淵脇さん 樽井さん 副リーダーの私小嶋と6名で2月15日に魚時會館おさかな亭さんで開催しました。

今回のIGMでは「地域社会で必要とされていることは、一体何なのか」をテーマに話し合いながら

会食を楽しみました、テーマの話の前に内山さんと佐野さんがいますのでもちろん宮古島の話がたっぷりとお話していただき、宮古島の台風の様子や島のお酒の飲み方から淵脇さんの鹿児島の酒の話 鹿児島の様々な話など大変盛り上がりまして、すっかり時間が来たところで佐野さんが「島の話ばかりじゃ小嶋くんが困るだろ」とダジャレのような助け舟をいただき、本題に入りました、子ども食堂へお米の寄贈の話があるが、私達と子ども食堂に通う子供達と親とロータリアンで田植えをして交流を図り、できたお米を作って寄贈するのはどうだろう、「池勇米」と名前をつけてはどうだろうかという素晴らしい意見があがりました。

ここからは私自身の意見ではありますが、こどもの貧困というものは親から続いてしまい、またその子供が親世代になった時に同じようなことが続いてしまうパターンが大多数だそうです、そのような家庭で抱える問題というのは複雑で大変見えづらい問題ではありますが、まずはいま貧困層の子どもを助けることももちろん大事ですが、並行してその親世代にも支援することも必要な事なのかもしれません。

たとえば子どもの問題を扱う公的機関である児童相談所は多忙を極め、定員を超えて子どもを保護する一時保護所も少なくありません。

一時保護された子どもの多くは、元の家庭に戻っていきます。それら家庭の抱える問題も、より個別で複雑で、見えづらいものになっています。

こうした状況に対し、特定の支援機関や支援者が個別の支援を積み重ねていくことの限界は、はっきりしていますが、必要なのは、「地域」

(Community) という視点に立ち戻り、市民と専門家、児童福祉と教育、民間と行政、そして私達ロータリアンが、既存の壁を取り払い、同じ地域のなかで、子どもを中心につなごうとすることが必要なのではないかと思います。

子どもがどのような家庭、どのような地域に生まれても、必要な支えを得て、その家庭、その地域で育っていける社会を実現するために、私達ロータリアンの努力が求められているのかもしれない。



皆さんこんにちは
IGM 8 班の報告に
なります。

1/29 和楽たすくにて
開催しました。
まず初めに、メン
バーが渡邊会長

富澤幹事 漆畑副会長 杉浦さん 加藤さん
自分の6名でやりました。

今回の発表は加藤さんがやる予定でしたが、静岡
の3食付き別荘まゝ、病院に10日間滞在するとの
事なので自分が代わりに発表させていただきます。
会はみんなで集合写真を撮りスタートしました。
杉浦さんが子供食堂の話をしてくれて、意外に
夕方なんかにも親子で来たりするそうで 親は
有料、子供は無料で夕飯を食べに来るとは知らな
かった話が聞けました。

そこから、ロータリアンとは社会奉仕、職業奉仕、
地域貢献など話し始め、話しも熱くなってきたと
ころで、漆畑さん、渡邊会長の酒の飲むスピード
が速くなってきて、自分も酒は少しは飲めるん
ですけどこの日はこの2人が1, 2争うぐらいに飲
んでました。色々話をした結果、藤枝南 RC は熱
爛飲む人多いねとまとまりました。

最近少しづつ皆さんと話す機会が増えテーマ内
容より雑談が多かったですけど楽しく飲めまし
た。

酒は楽しく！！師匠からの教えです。今度は漆畑
さん渡邊会長にガンガン酒の飲み方を教わりた
いです。以上です。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
3/15(金) 第 1542 回	PETS 報告	小杉苑
3/22(金) 第 1543 回	ガバナー補佐訪問	小杉苑
3/29(金) 第 1544 回	早朝例会	
4/5(金) 第 1545 回	米山記念奨学委員	理事会

今週の一言

杉山茂範君



私が継続してい
ることは毎朝の浴
室とトイレの清掃
です。家内が妊娠
中にたいへんそう
だったので代わり
にやったことが始

まりでしたが、以来そのまま私の役割となり継続
しています。昨年の年末にお恥ずかしい姿をお見
せしましたが、その時浴室の清掃は一時期お休
みをさせていただきましたが、お陰様で順調縫い回
復し清掃も再開しています。

やり始めた頃は義務感がありやらされている
感があったのですが、最近ではできるだけきれいに
したいと思うようになりいろいろなブラシを試
してみたり、カビ取りやクエン酸など洗浄液を試
してみたりしながら行っています。すると効果が
目に見えるようになってきて案外楽しくなって
います。現在では私の中で朝の必須のルーティン
となっており、生活のリズムになっています。



おめでとうございます！



(担当/森竹君)